

# 岡工定時 Q&A

## Q0 そもそも、どのような人が定時制に向いていますか？

- A 本校定時制のスクールポリシーを参考にしてください。端的には次のような人です。
- ・生活習慣に不安があり、朝からの全日制高校への進学に不安がある人。
  - ・働きながら学ぼうと考えた人。
  - ・中学校で不登校だったけれど、高校で学び直したいと考えている人。
  - ・中学校卒業後何年か経っているけれど、やっぱり高校を卒業したいと思った人。

## Q1 授業時間は、どのようですか？

- A 45分授業を4時限。1限と2限の間に給食があります。4年間で学びます。

## Q2 授業の教科や内容はどうなっていますか？

- A 基礎的な科目がほとんどですが、教科書は高校レベルです。授業では基本から学習しますが、いまのうちに基礎学力を高めておくとう入学後の学習がスムーズです。
- 機械科ですので、普通科目と工業科目が半々くらいです。普通科目は中学校で学んだ内容をさらに高卒レベルまで学習します。工業科目では教室での学習のほか、実習があります。実習では旋盤など高速で回転する大きな工作機械を扱ったり、溶接では火花を伴うこともありますし、鑄造では高温の溶けたアルミニウムを扱います。教員の指導をよく聞いて、落ち着いて作業する心構えが必要です。

## Q3 クラスの人数は、どのくらいですか？

- A 今年は1年生27人、2年生17人、3年生24人、4年生11人の計79人です。女子生徒もいます。1年生は2クラスに分けるので1クラス14人と13人です。

## Q4 どんな人が通っていますか？通学方法はどのようになっていますか？

- A 中学校からストレートで入学した人がほとんどですが、それ以外にも多様な生徒が通ってきています。ただ、就職を目指した職業高校なので、若者ばかりです。
- 自転車通学が多いですが、駅から徒歩やバスであったり、遠隔地から親が送迎してくる場合もあります。年齢が来れば、申請により原付や四輪での通学を許可します。

## Q5 制服はどのようになっていますか？生活指導が厳しいと聞いていますが？

- A 制服は、全日制と同じブレザーにスラックスです（男女とも）。生活指導は特に厳しいものではありません。詳しくはHPの「岡崎工科高校定時制課程の生活」を見てください。頭髪・身だしなみ指導もしています。“社会人としての基本を身につけ、社会で活躍できる人物となる”を目指すことにより就職に備えます。また、生徒の皆さんもその期待に応えて非常に落ち着いた、とてもよい学習環境が整っています。

## Q6 学校行事には、どのようなものがありますか？

- A 文化的行事として、ナガシマスパーランドか劇団四季鑑賞に行きます。本年度はモリコロパークに行きます。
- また、クラスマッチ（バレーボール大会）、体育大会で盛り上がります。
- 4年生になると、修学旅行に行きます。ただし、昨年度は3・4年生が少人数であったために2学年合同で実施したので、本年度の修学旅行はありません。
- （令和5年度：長崎ハウステンボス他 令和6年度：東京ディズニーランド他）

**Q7 定期テストは何回ありますか？**

A 1学期に中間と期末、2学期にも中間と期末、3学期に学年末の計5回です。

**Q8 進級するために必要なことは何ですか？**

A 授業に参加して積極的に取り組み（履修）、テストや提出物等で一定の基準に達すること（修得）が必要です。また、学年制ですので、その学年での全科目を履修・修得する必要があります。

**Q9 成績はどのようにつけますか？**

A 学期ごとにテストを含めて3観点から総合的に成績評価をします。1・2学期の不振科目は、補習をした後に追試験で挽回を目指してもらいます。学年末は、3つの学期を総合評価します。学年末で不振となった場合は、追認審査で挽回してもらいます。

**Q10 学費はどのくらいかかりますか？**

A 「学費シミュレーション」（別紙）を参考にしてください。入学までに制服代を含めて約11万円かかります。就学支援金の対象者になれば授業料を全額支援されるため、入学後は給食費を含めて月々11,000円（※）のみの納入です。卒業までには約56万円（就学支援金適用の場合）かかります（うち、約25万円は給食費）。2・3・4年生の年度初めは教科書代金のみで、授業料等を一括で納める必要はありません。（※も含め、各金額は年により変わる可能性があります。）  
アルバイトで自分の学費を稼ぐ自立した生徒もたくさんいます。また、アルバイトを頑張れば教科書代金（約3万4千円）の補助が受けられます。

**Q11 3年間で卒業できる制度があると聞きましたが？**

A 刈谷東高校の通信制課程で併修制度を利用したり、高卒認定試験で単位修得することによって3年間で卒業することが可能ですが、生半可な気持ちでは、やり切ることは難しいでしょう。

**Q12 卒業後の進路は、どうですか？**

A 就職する生徒が多く、学校に寄せられた求人票を使って就職することが多いです。機械科ですので地元の製造業に就職することがほとんどですが、それ以外の職種に就職したり、大学や専門学校に進学する者もいます。職種や業種は様々ですが、ここ数年は定時制にも150人以上の求人数が寄せられています。過去の就職先についてはパンフレットをご覧ください。ただし、希望を叶えるには実力をつけるとともに欠席が少ないことなどが大切です。

**Q13 中学時代に不登校でしたが、入試で不利とならないですか？**

A 中学時代に不登校を経験した在校生は数多くいます。欠席日数が多いだけで入試において不利になることはありません。学び直したい気持ちがあれば是非チャレンジしてください。ただし、高校ではQ8のAにあるように授業に出席して履修したうえで修得することが必要となります。また、「長期欠席者等にかかる選抜方法」の申請を希望する人は、中学校の先生とよく相談した上で手続きを進めてください。

**Q14 外国籍でも入学できますか？**

A 外国にルーツがある在校生もいますし、卒業後に就職もできます。ただし、授業やテストは日本語でおこないますので、「聞く・読む・書く」の日本語能力は身に付けておいてください。実習での安全作業にも関わります。地元などにある日本語教室で予め勉強しておくことをお勧めします。

（上記は令和7年度の内容となります。次年度以降改定となることもあります。）